

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)		スナック（経営者）	・乗客数、客単価共に、ここ半年くらい安定的に改善が続いている。前年比で落ち込む月が珍しいほどで、ありがたい。このまま続けてもらいたい。
		都市型ホテル（営業）	・毎月1回、一斉営業ということで、全社員6～7チーム編成で、市内工業団地回りをしている。チラシ、ポスティング等も実施しており、ホテルの知名度も上がってきている。また、料理の評判も良いので、これから秋に向けて景気は良くなっていくものとみている。
		スーパー（副店長）	・8月は雨が続いた上、お盆明けは一気に秋めいて、夏物商材の動きが悪く、売上は全く良くなかった。2～3か月先は気温が安定し、順調に農作物も出荷されれば、今より少しは景気も上向くのではないかと。
		コンビニ（店長）	・今月は天候不順もあったが、近くの公共施設の使用中止の影響が、夏休みのために大きく出ている。3か月後は上向くことを期待している。
		衣料品専門店（統括）	・秋までは、みこしや山車などの、個人が参加出来る祭りがあるため、祭りに参加する人たちの消費が多い。秋が終わると祭りの内容が変わるため、ほとんど用品が出なくなる。
		乗用車販売店（経営者）	・最量販車のモデルチェンジが今月末にあるため、受注拡大が見込める。
		乗用車販売店（経営者）	・来月ごろからいくつかの車種でモデルチェンジが予定されているので、新車販売数の増加につながれば、景気も上向いてくる。
		乗用車販売店（管理担当）	・当社以外の同業他社は、新型車投入でやや良くなっている。
		観光型ホテル（経営者）	・秋の行楽シーズンに入ることやインバウンドが順調に推移しているため、やや良くなる。
		都市型ホテル（支配人）	・当社で運転資金と設備資金の調達をし、宿泊用客室の増室、増床工事を進めている。来月中旬に完成予定で、売上げが期待できる。
		旅行代理店（所長）	・天候次第ではあるものの、新しい観光素材がこの夏スタートしたので、その効果が秋に向けて広がりを見せる状況にある。
		通信会社（総務担当）	・良くも悪くも人気ナンバーワンの商品がモデルチェンジを予定しており、旧機種や他機種の関連値下げも含めると活気が出てくると予想している。
		テーマパーク（職員）	・新駅開業効果やSL列車の運転により、個人、団体客の動きが良くなってきている。
		遊園地（職員）	・夏季オープンした新規施設やイベント実施等により、引き続き多くの来園客を期待する。
		ゴルフ場（総務担当）	・10月の入場者予約状況は順調で、回復傾向がみられる。
		美容室（経営者）	・当分は残暑が続く、カットの売上が半分以上を占めるとみている。ただし、徐々にヘアカラーやパーマ等の高単価の施術も客に受け入れられており、少しずつ売上も改善していく。
		その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・雇用が良いため、旅行してもらえ。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・秋口になれば、天候も回復して生鮮食品も出回ってくる。北朝鮮情勢が心配だが、客が外出してくれれば、上向くとまではいかないが、変わらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費者の購買意欲を促す要素が見当たらない。必要に迫られて購入する客に、いかに良い商品、付加価値の高い商品を購入してもらい売上の維持、増加を狙いたいところだが厳しい状況が続く。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・皆、結局将来への不安があり、消費税増税の話も出ていることから、財布のひもは固い。客は必要に迫られて購入し、特別な物にはあまり手を出さない傾向である。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・天候、商品共に、上向く要素が見つからない。	
	百貨店（営業担当）	・株も若干、下落気味で、天候不順もあり、なかなか良い要素もないが、決して消費マインドが落ちているというわけではないので、現状が続くとみている。	
	百貨店（営業担当）	・一部宝飾等、高額品に動きがみられるものの、主力の衣料品は大きな改善には至らない。店全体では、現状維持の見込みである。	

百貨店（営業担当）	・食品や化粧品などの消耗品は、引き続き好調さを保つとみている。リビング関連は布団、寝具などがけん引しており、堅調である。ただし、売上の大半を占める衣料品が相変わらず不振で、店全体としては今後2～3か月先も変わらない。
百貨店（店長）	・客の購買行動は慎重である。食品はよく売れているが、その他は売れない。
スーパー（経営者）	・店の前面道路の開通が平成31年3月で、本来はあと7か月で開通のところ更に1年伸びてしまった。お弁当の宅配ケータリングは取引先企業も増え、売上が増加している。近隣の競合店も廃業し、仕事が増えている。
スーパー（総務担当）	・景気が良くなる与件は特にはない。今年も前月以外は厳しく、その状況がしばらく続くともみている。客単価が下がっており、財布のひもは更に固くなるのではないかと。
スーパー（商品部担当）	・一部企業の値下げに合わせ、単価を下げる動きが始まり、客単価をどう上げるかが今後のポイントになりそうな状態である。天候不順が続いたため、消費拡大はみえてこない。
コンビニ（経営者）	・11月ごろになると来客数は今よりは減るかもしれないが、季節商材が出てきて客の購買量が増えるため、総じて変わらない。
コンビニ（経営者）	・中食商品、ファーストフード商品は前年100%、又は103%を維持している。しかし、雑誌、たばこのマイナス幅が大きいため、売上減の原因となっている。雑誌、たばこの減少は今後も続く。
衣料品専門店（販売担当）	・客の年齢層がかなり高いため、交際費や家族への支出などで、自分が一番我慢する立場にあるというような話を多く聞いている。今後も良い要素が見当たらないなかで、悪い現状を引きずっていく3か月になるのではないかと。
乗用車販売店（経営者）	・ここ数年の国内の経済状況を考えると、発展する企業とそうでないところの格差が拡大し、両極端、優勝劣敗になってきている。少なくとも中流になれるよう努力をしたいが、世の中もそうなって欲しい。
乗用車販売店（販売担当）	・この1～2か月、販売や修理入庫が好調に推移している。これ以上良くなる要素は見当たらないので、現状でずっと推移していくのではないかと。
自動車備品販売店（経営者）	・悪い要件はあるが、良い要件は見当たらないため、自分の商売を、何らかの変化を付けて頑張っていくしかない。特に大きな変化は予想できない。
自動車備品販売店（経営者）	・来店総数は前年をクリアするものの、チラシによる大きな集客効果は薄れている。新車販売台数が横ばい予想のため、景気拡大はまだ見込めない。
住関連専門店（経営者）	・世界情勢の不安定感や国内政治の不透明さからくる不安感が、消費にブレーキをかけているようである。国内外の安心と安全が担保されないと消費マインドは高まらず、現状打破できない。急激な変化は期待できず、状況は変わらないのではないかと。
住関連専門店（店長）	・直近2～3か月の1人当たりの買上点数、客単価共に前年とほぼ変わらず推移している。
住関連専門店（仕入担当）	・節約志向の継続で大手流通各社が値下げの動きを示しており、生活用品の単価下落傾向は続いていく。この傾向が続く限り、好況を感じるのは難しい。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注状況は特に変わりなく推移している。
一般レストラン（経営者）	・季節による一過性ではあるものの、高単価メニューがよく出ており、多少期待できる。
一般レストラン（経営者）	・良くなる要因が見つからない。今に始まったことではないが、チェーン店の乱立、小型店舗の増加で、客の分散化が激しい。
一般レストラン（経営者）	・デスティネーションキャンペーンも来月終了するが、いまだに当店に予約が1件も入っていない。
スナック（経営者）	・変わらないという回答であるが、2～3か月後はどうなるか全然分からない。不安材料の方が多いような気がしている。
都市型ホテル（経営者）	・周辺人口の減少が顕著である。
都市型ホテル（スタッフ）	・今月は苦戦するとみていた宴会売上も最終的には前年実績、目標共に超えそうである。9～10月は前年同月比でみても101%と若干ではあるが超えている。
都市型ホテル（営業担当）	・現時点の動きからすると、3か月後は極端に良くなるというような要素や理由はない。
都市型ホテル（副支配人）	・9月は例年同様やや落ち込むが、10～11月で伸びが見込めるため、全体的には変わらない。

旅行代理店（経営者）	・そろそろ秋口の旅行申込が一段落し、今後は冬のオフ期となる。
旅行代理店（従業員）	・世界情勢が不安定である。
タクシー運転手	・しばらくは、現状のままではないか。乗務員不足で同業他社も売上は落ちる。
タクシー（経営者）	・夜の動きが良くないので、この先も変わらない。
タクシー（役員）	・新規就労者が少ないため、変わらない。
通信会社（経営者）	・節約志向や生活費優先の傾向なのが、新規加入は非常に低調であり、今のところ改善の見込みはない。
通信会社（経営者）	・景気がバブル時期を抜いたといわれているが、地方ではまだ、その実感はない。
通信会社（営業担当）	・景気を刺激する内容が特にならないため、しばらくは現状維持が続く。
ゴルフ場（経営者）	・現在の客層が減少しない間はなんとか持ちこたえられる。ただし、3～5年後の団塊世代のリタイア後は急激に厳しくなると予測される。30～50代の可処分所得と可処分時間の増大が課題である。
競輪場（職員）	・他競輪場開催の記念競輪レース売上が、ほぼ横ばいで推移している。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・地方景気が良くなる材料は見当たらない。県南の私鉄沿線の一部地域に地価高騰があり、限定的な回復はあるものの全体では停滞している。県知事が変わり、行政の変革に期待はするが、にわかに効果は期待出来ない。
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・客は懐が暖かくなっても、必要な物を必要な量だけ買い回るといった動きは、依然変わらない。そのため、今後も変わらない。
その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・海外の政治、気候変動などのリスクが懸念される。
設計事務所（経営者）	・今月と同じ状況が続くとみている。
設計事務所（所長）	・たまたま今は公共事業の発注時期で忙しいが、年間を通して忙しいわけではない。
住宅販売会社（従業員）	・キャンペーン効果は一時的で、根本的な観光振興にはつなげていない。
商店街（代表者）	・毎年、お盆には同窓会やクラス会等の撮影依頼があるが、今年は皆無で、今後に期待はできない。支出を抑えている様子が顕著である。
商店街（代表者）	・これから運動会シーズンだが、学校販売品はある程度出るものの、今までのように運動会だからといって売れるわけではない。客も本当に少なく店頭販売は減っており、本当に心配している。
商店街（代表者）	・秋の収穫シーズンを迎え、一部果物に天候不順の影響が出ている。売上に響きそうである。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	・当地の名刹に客は来ているが、皆、買物はしない。衣料品店には買物に来ないので、あまり良くはならない。
一般小売店〔乳業〕（経営者）	・社会保障費の負担のためか、依然として世帯ごとの消費支出は減退している。
一般小売店〔青果〕（店長）	・相変わらず景気は悪い。同業者がまた倒産、自己破産し、辞めた店からの取引先をもらっているため売上自体は伸びているが、周りは本当に悪い。当店は納入以外の店頭販売は本当にひどい状態である。
スーパー（経営者）	・アニサキス問題で鮮魚が非常に悪い。また、長雨の影響で野菜価格が上昇し消費は悪化しているため、売上増は見込めない。
スーパー（企画担当）	・客の可処分所得が伸びないため、景気の先行きが見えず、消費は伸びないと予想する。
コンビニ（経営者）	・ここに来て競合店が出店を重ねているので、来客数が減ってきている。
コンビニ（経営者）	・夏がピークということからも、今までの経験上、秋口には売上は落ちてしまうのは仕方がない。特に今年は、同業他社の出店などにより、一段と苦戦が予想される。
コンビニ（経営者）	・競合店の進出で、やや悪くなる。
コンビニ（経営者）	・気温の低下と共に単価は低くなるため、やや悪くなる。
コンビニ（店長）	・3～4か月後は、当地で同業他社の出店が決まったので、多少は減ってくるのではないかと。
家電量販店（店長）	・暖房商材の立ち上がり次第で、第3四半期は決定してしまう。早く気温が急激に下がって欲しい。
乗用車販売店（販売担当）	・自動車販売、サービス共に売上が落ちている。今月は上旬よりも中旬、下旬と段々悪くなっている。そのため、3か月後はより一層悪くなる。

	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	・隣接する駅前に大型商業施設が開業するため、年内は3～5%の来客数の減少が懸念される。
	一般レストラン (経営者)	・人手不足がサービス業から製造業にまで及んできて、求人募集をしても応募者がいない状態である。外食業に限れば、食材費の値上がりが見越せない状況で、値上げを含めたメニュー変更の検討を始めている。
	観光型ホテル (支配人)	・農作物の不作による食材価格の高騰が懸念される。秋の台風シーズンになるが、今年の天候不順が回復することを願うばかりである。
	観光型旅館 (経営者)	・前年秋も良くなかったが、今年も夏の天候不順などにより、秋の予約が伸びていない。
	旅行代理店 (副支店長)	・荒天や台風等による旅行離れ、企業出張や組織、団体の旅行延期が懸念される。また、海外情勢不安による海外旅行離れなど、景気上昇の要素が見当たらない。収穫を控えている農家の今後次第で、旅行消費の更なる減少が非常に懸念される。
	タクシー運転手	・前月は前年比95%、今月も同95%である。ここ1年を見ても、100%を越す月は少ない。
	通信会社 (経営者)	・当地は高齢者が多いこともあるが、全く景気の上向き感はない。高齢化と人口減で先行きは不安である。
	通信会社 (局長)	・人口減がじわじわと進んでいるので、2～3か月後もやや悪くなり、右肩下がりである。
	ゴルフ場 (経営者)	・リゾートコースであるため、気温の上昇で予約が回復し、9月は順調な予約が入ってきている。
	美容室 (経営者)	・「東証一部企業最高益を更新の見通し」とのニュースは円建てで膨らんだ国外収益によるところが大きく、実態経済を反映しているとは言い難い。10月には最低賃金が25円も上げられることが確定的で、人件費高騰のしわ寄せは小規模事業者に重くのしかかる。
	設計事務所 (所長)	・全体としては、今はまだどうかといった状態だが、先行きはあまり期待できそうにない。
	住宅販売会社 (経営者)	・北朝鮮情勢が不穏で、あまり積極的な動きがみられないと予想される。
	x 通信会社 (経営者)	・県知事の世代交代が出来たことが、一縷の望みではあるが、2～3か月では何も変わらない。
企業 動向 関連 (北関東)	その他製造業 [環境機器] (経営者)	・今月のみ日射量が少ないため、良くなる。
	食品品製造業 (営業統括)	・今月中旬から下旬にかけて天候が回復しており、新酒の出来が期待される。また、東南アジア向けの輸出も増加しつつある。
	化学工業 (経営者)	・受注予想はそれほど悪くなく、引き合いもあり、多少良くなるとみている。
	一般機械器具製造業 (経営者)	・建設機械関連の仕事は底堅く推移している。ロボットや半導体分野等の新規案件も納入が本格化し、軌道に乗る見込みである。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・10～12月と受注量が前年比約2～3割上がっている。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・主要取引先からの受注増が当面見込めないため、営業努力を行った結果、昔の取引先からの受注が始まりつつある。
	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・大手自動車メーカーの北米輸出台数が、前年同月比でプラスで、国内販売も約2万台のバックオーダーを抱えており、部品受注量も増えている。
	建設業 (開発担当)	・現政権の下、公共工事は前年比20%増の発注とありがたい。ただ獣医学部新設問題等、現政権の支持率低下があるため、大変心配している。今後も公共工事発注が好調なことを期待している。当社決算は前期発注額が売上に影響されるため、今年度決算は厳しくなる。
	食品品製造業 (経営者)	・天候の影響で、良い業界も悪い業界もあるがトータルでは変わらないのではないかと。
	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・種々展開しているものの受注、販売共に予想すらできない状態である。
	窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・夏枯れ状態で推移している。
	金属製品製造業 (経営者)	・当社は仕事が少なく困っているが、同業者の中には、休日出勤、毎日遅くまで残業しているところもある。同じ業者でも、いろいろある。これから更に努力していく。
	金属製品製造業 (経営者)	・3か月くらいは既存取引先の高原状態が続く。新規の客からも引き合いがあるので、効率化によって新規受注を取り込めれば現在より良くなる可能性もある。

	電気機械器具製造業（経営者）	・今のところ安定しており、今後2～3か月は変わらず行けそうである。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・物件見積の減少が、先行きは厳しい状況になると予想する。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・6～8月とまずまずの売上であったが、今後2～3か月先のことはまるで分からない。販売量、受注量、販売価格等は変わらないかもしれないし、悪くなるか、良くなるかもしれない。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・いまだ、国内マーケットの状況は回復していない。このまま行くと顧客のジュエリー離れや問屋の委託販売への依存がますますひどくなる。
	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
	建設業（総務担当）	・公共の発注予定をみると、ある程度の件数はありそうだが、良くなるほどではない。
	輸送業（営業担当）	・今後は通常の季節替わりにより、こたつ、ヒーター等の初回輸送が始まる。また、秋の行楽向けのレジャー用品、椅子、シート等の物量が前年並みの輸送量の予定である。
	金融業（調査担当）	・製造業は底堅く推移するとみられるが、個人消費の弱さに加え、観光面では大型イベントであるデスティネーションキャンペーンが、期待したほどの成果がみえない状況である。
	金融業（経営企画担当）	・国内の株式市場も2万円弱の状況で推移しており、米国政権の政策実行性の不透明さに加え、北朝鮮による外部要因により、今後も景気が足踏みする可能性がある。
	不動産業（管理担当）	・今のところ、新規業務受注の話や契約終了の話も特に出てきていないため、突発的な案件を除けば横ばいとみている。
	広告代理店（営業担当）	・9～10月の見込みは、例年どおり低調である。通常、11月にならないと広告宣伝は活発化しない。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・チラシの出稿サイズがさらに縮小化している。スーパー、ホームセンター、パチンコ店など、通常は大判だったものがサイズダウンしている。当然ながら、掲載品目数も減少している。チラシの減少傾向に底がみえない。
	経営コンサルタント	・秋への季節変化に伴う需要が見込めるが、企業投資は個人消費の動向次第である。
	司法書士	・国内外共に、少し荒れ模様でよく分からない。
	社会保険労務士	・最低賃金が大台を超えるところまで上がらなかったのは良かったが、一部サービス業の事業所では最低賃金で従業員を雇用しているため、多少影響が出そうである。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注量、販売量共に、特段変化はみられない。
	食料品製造業（製造担当）	・来月も得意先がなくなる。景況感が悪く、物の動きも悪くなる。
	通信業（経営者）	・地域の景況感からも、悪くなることはあっても良くなることはなさそうである。
	× 出版・印刷・同関連産業（経営者）	・利益が出ないため、資金繰りが大変である。
雇用 関連 (北関東)	職業安定所（職員）	・北朝鮮問題などの外的要因がなければ、当面、回復傾向が続くとみている。
	人材派遣会社（経営者）	・このところ仕事が忙しく、求人はたくさんあるものの、求職者がいなくて困っている。
	人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品の製造派遣が増える計画である。
	人材派遣会社（経営者）	・天候不順等の災害が懸念されるなかで、在庫調整等を予測的に行うほか、人員確保をしていくものとみている。人員確保は恒例となったが、通年の人材不足で、建設関係も公共事業関連の発注が出てくるため、一進一退で少し伸びていくのではないかと。
	人材派遣会社（営業担当）	・労働契約法など課題は山積で、環境は変わっていない。業界も含めての話だが、労働者の雇用を増やすには、条件等も含めて見直しが求められる。
	人材派遣会社（支社長）	・1～6月までずっと増進し、この8月の閑散期でさえも求人は引きも切らない。引き続き、人材不足からくる企業のひっ迫感は強い。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・景気動向も安定的に続くか分からない現状で、企業の正社員募集は慎重になっている。
	民間職業紹介機関（経営者）	・今後を読み切れないため、為替相場の影響を受ける製造業では、現状程度と予測する。

	学校 [専門学校] (副校長)	・例年に比べて、間接的な業務である事務系求人が多い。9月の高校生の就職試験実施後に事務系職種の求人があれば、景気上昇と考えられる。
	職業安定所 (職員)	・有効求職者が16か月連続の前年同月比マイナスである。ミスマッチもあるので、更に深刻な人手不足になる。
x	-	-